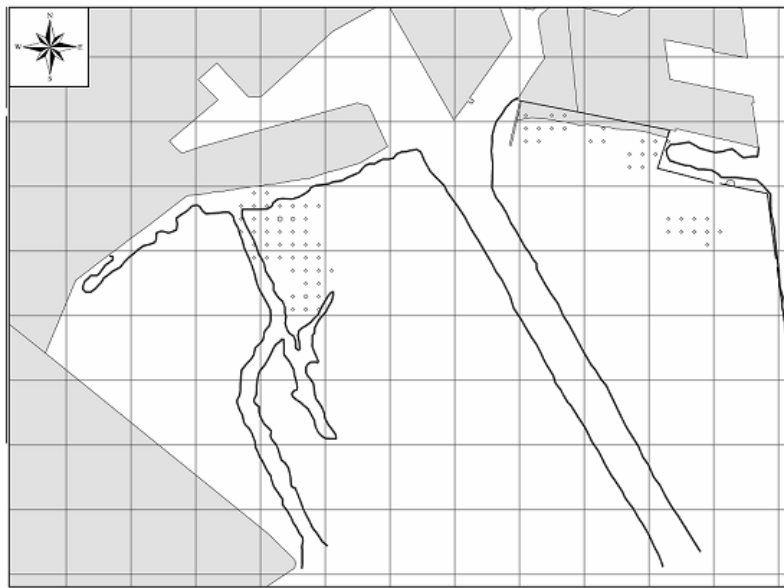
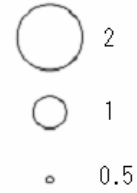


【図 12】夏季におけるダイゼンの密度分布（採餌場所）



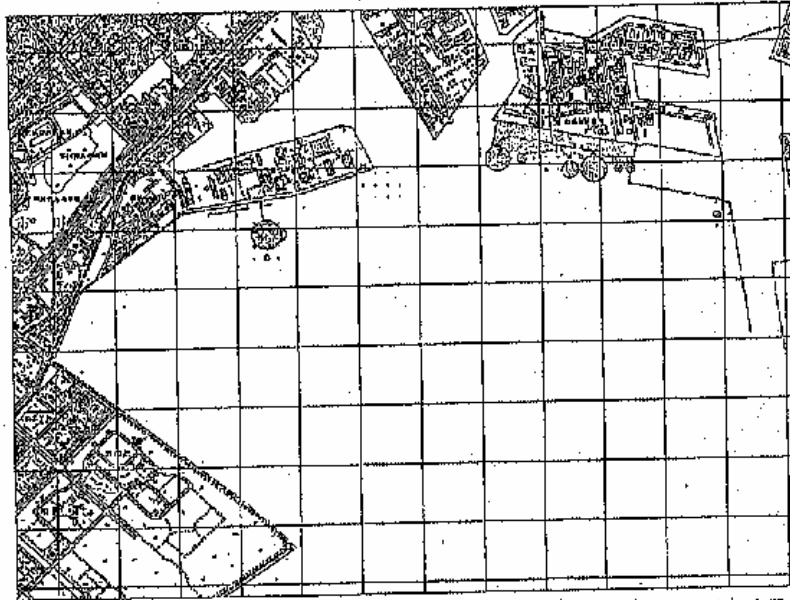
平成19年度夏季
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



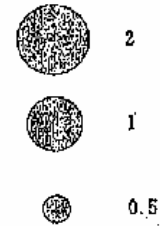
基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

x : 密度(個体数/100 m^2)
 d : 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d=0.1$ で表示



平成8～9年度夏季
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



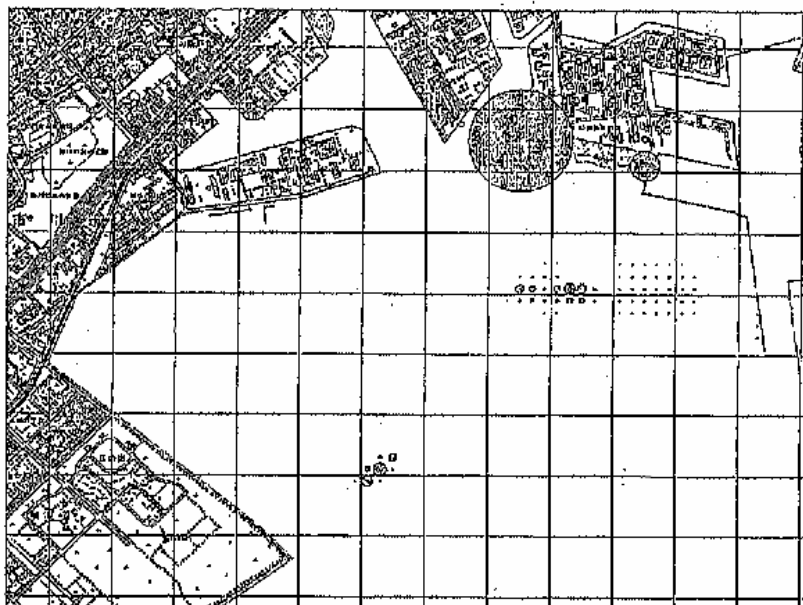
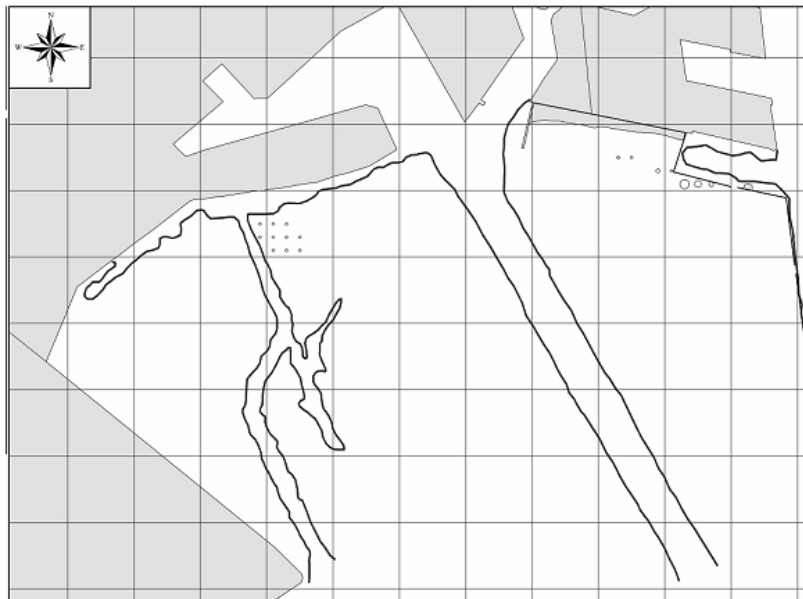
基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x : 密度 [個体数/100 m^2 ・対象期間]
 d : 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。



【図 13】夏季におけるダイゼンの密度分布（休息場所）

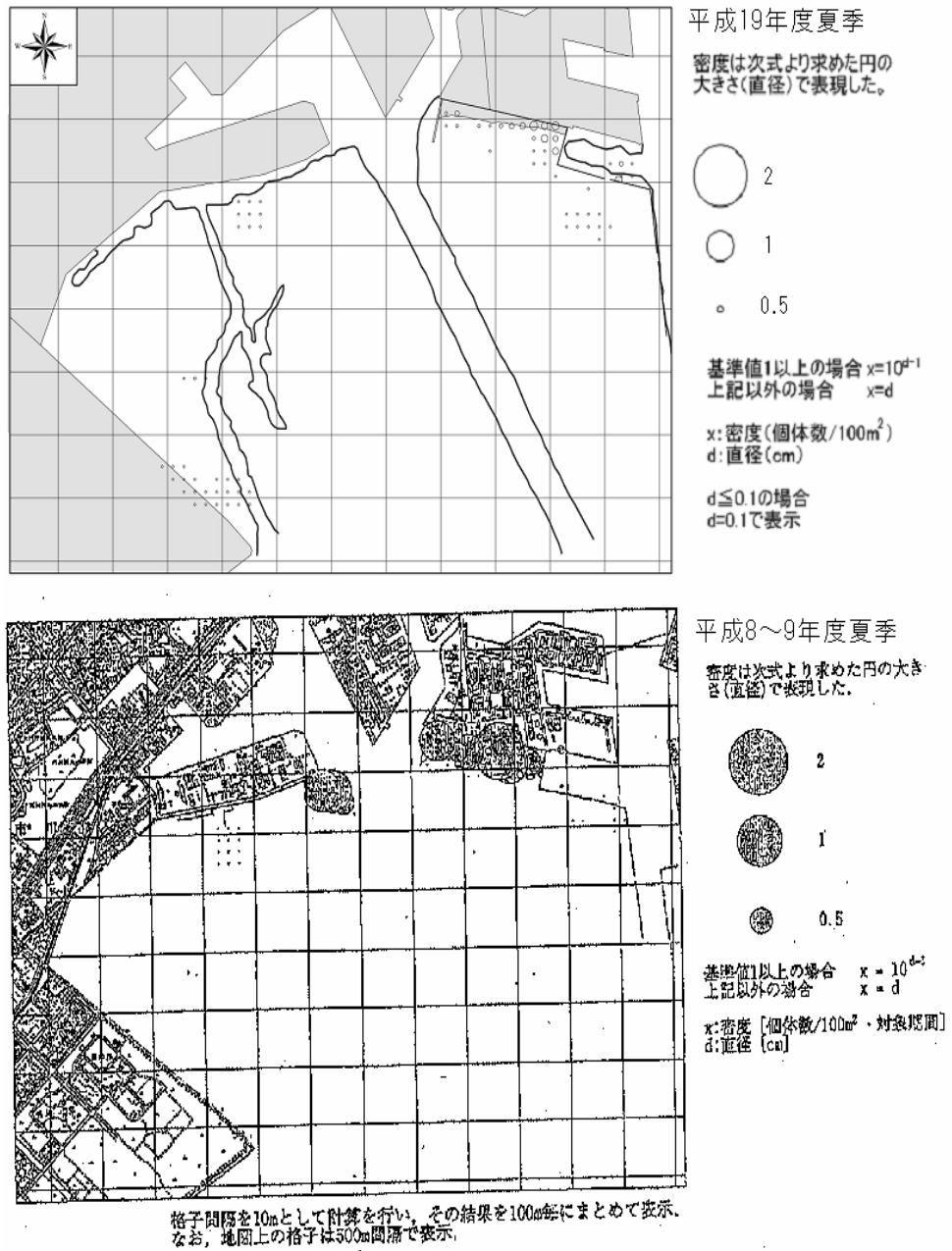


格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

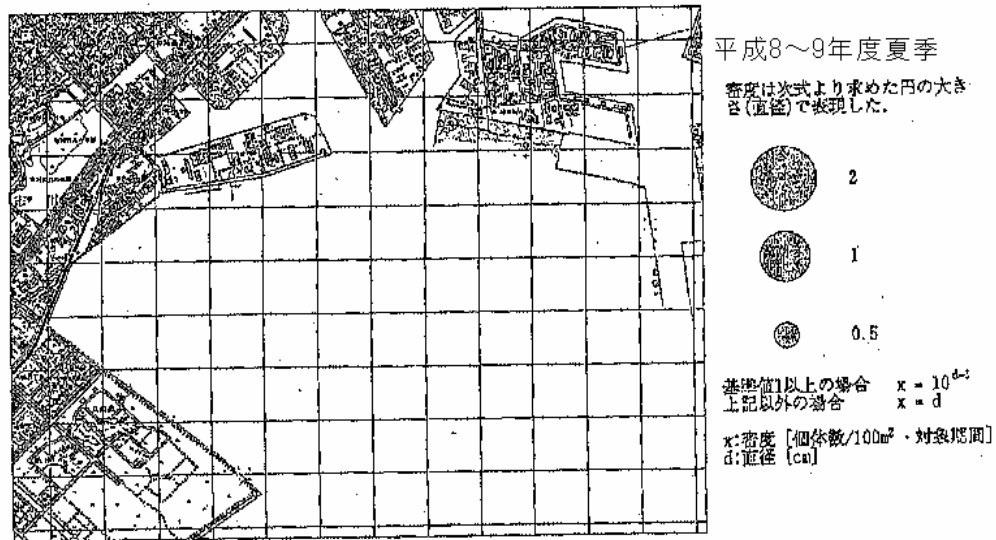
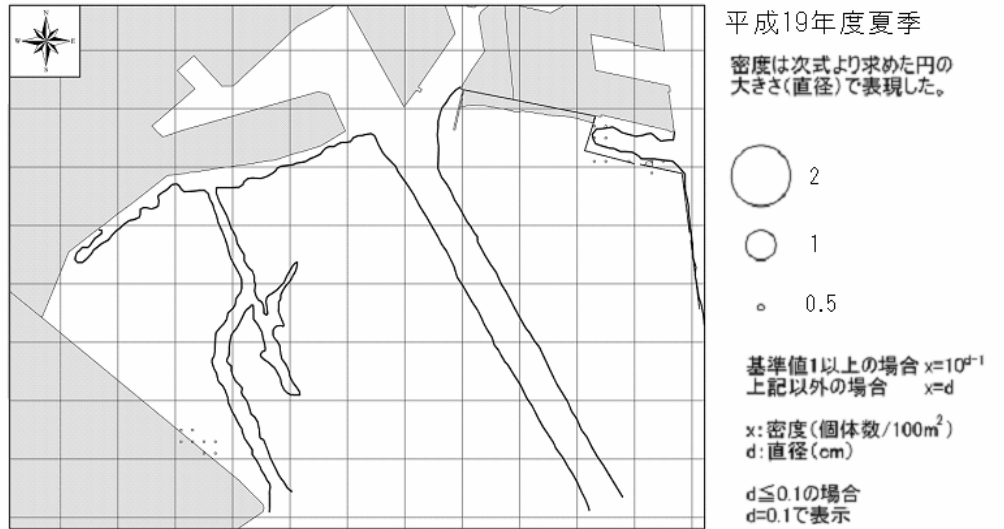
キョウジョシギ

一般生態	旅鳥として日本各地に渡来し、砂浜や河口の砂泥地のほか岩石地や砂利地の海岸などで甲殻類、貝類、ハマトビムシなどを採餌する。																								
確認時期	<p>平成 8～9 年度と同様、主に 5 月及び 8 月に確認された。</p> <table border="1"> <caption>キョウジョシギ 観察個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>58</td> <td>183</td> <td>336</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>63</td> <td>123</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成8年度	平成9年度	5	58	183	336	8	63	123	68	9	6	5	0	1	0	0	0	2	0	0	0
月	平成19年度	平成8年度	平成9年度																						
5	58	183	336																						
8	63	123	68																						
9	6	5	0																						
1	0	0	0																						
2	0	0	0																						
分布状況	<p>夏季の採餌場所を図 14 に示す。</p> <p>採餌は、6 時から 17 時までみられ、13 時と 17 時の観察個体数が多かった。潮位との関係はみられず、潮位の高い 17 時には船橋海浜公園の汀際付近で採餌する個体が多くみられた。主な採餌場所は船橋海浜公園周辺、養貝場及び日の出の前面であった。平成 8～9 年度は日の出前面での採餌がほとんどなく、採餌場所が拡大していた。</p> <p>夏季の休息場所を図 15 に示す。</p> <p>キョウジョシギの休息は、夕方の 17 時から増加した。休息場所は船橋防泥柵周辺、日の出前面の護岸付近であった。平成 8～9 年度は防泥柵の沖側での休息が多かったが、本年度はこの場所での休息は確認されなかった。</p>																								

【図 14】夏季におけるキョウジョウシギの密度分布（採餌場所）



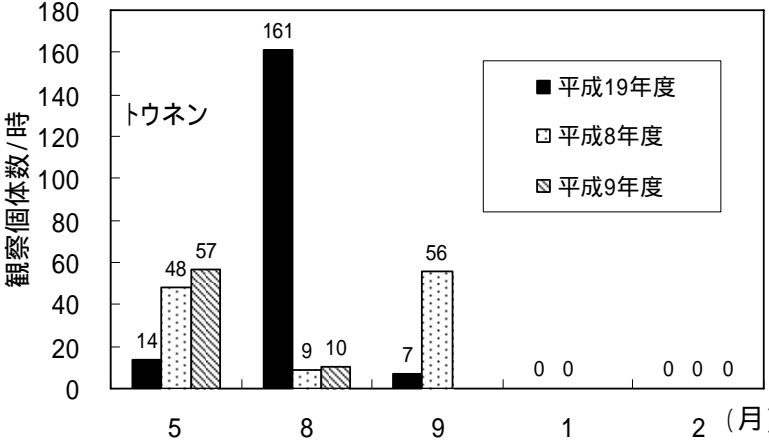
【図 15】 夏季におけるキョウジョシギの密度分布（休息場所）



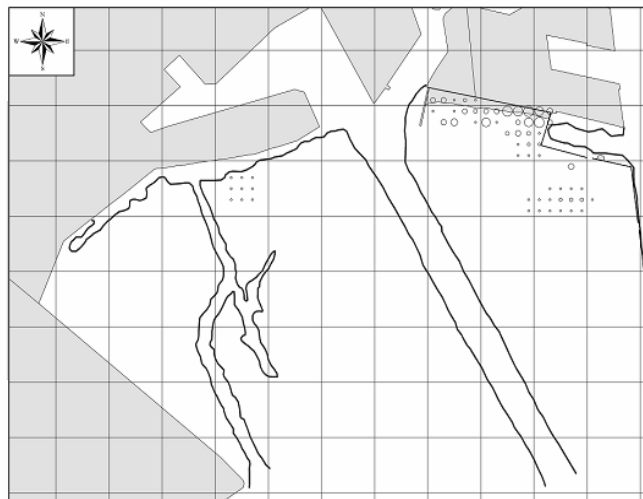
格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
 なお、地図上の格子は500m間隔で表示。



トウネン

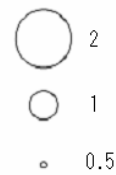
<p>確認時期</p>	<p>本種は平成 8～9 年度と同様、5 月、8 月、9 月に確認されたが、8 月が多く、5、9 月は少ない傾向にあった。</p>  <table border="1" data-bbox="411 331 1182 770"> <caption>トウネン 観察個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>14</td> <td>48</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>161</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7</td> <td>56</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成8年度	平成9年度	5	14	48	57	8	161	9	10	9	7	56	0	1	0	0	0	2	0	0	0
月	平成19年度	平成8年度	平成9年度																						
5	14	48	57																						
8	161	9	10																						
9	7	56	0																						
1	0	0	0																						
2	0	0	0																						
<p>分布状況</p>	<p>夏季の採餌場所を図 16 に示す。</p> <p>トウネンの採餌は、観察を開始した 6 時～終了の 18 時まですべて確認され、下げ潮時の 9 時、上げ潮時の 17 時に観察個体数が多かった。主な採餌場所は、船橋海浜公園周辺及び養貝場であり、平成 8～9 年度と大きな変化はなかった。</p> <p>夏季の休息場所を図 17 に示す。</p> <p>主な休息場所は船橋の防泥柵上であった。平成 8～9 年度には船橋海浜公園の汀線付近での休息が多く、本年度とはやや場所が異なっていた。</p>																								

【図 16】夏季におけるトウネンの密度分布（採餌場所）



平成19年度夏季

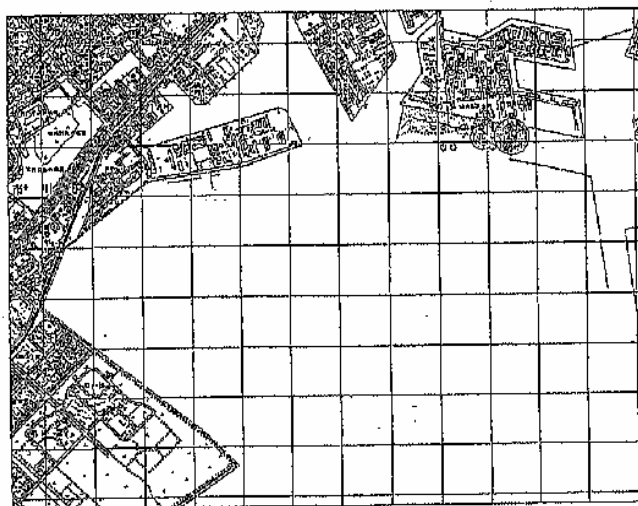
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

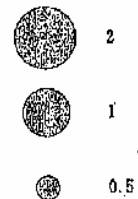
x:密度(個体数/100m²)
d:直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
d=0.1で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x:密度 [個体数/100m²・対象区画]
d:直径 (cm)

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m²にまとめて表示。
なお、地図上の格子は50cm間隔で表示。

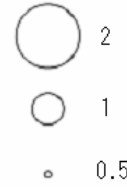


【図 17】 夏季におけるトウネンの密度分布（休息場所）



平成19年度夏季

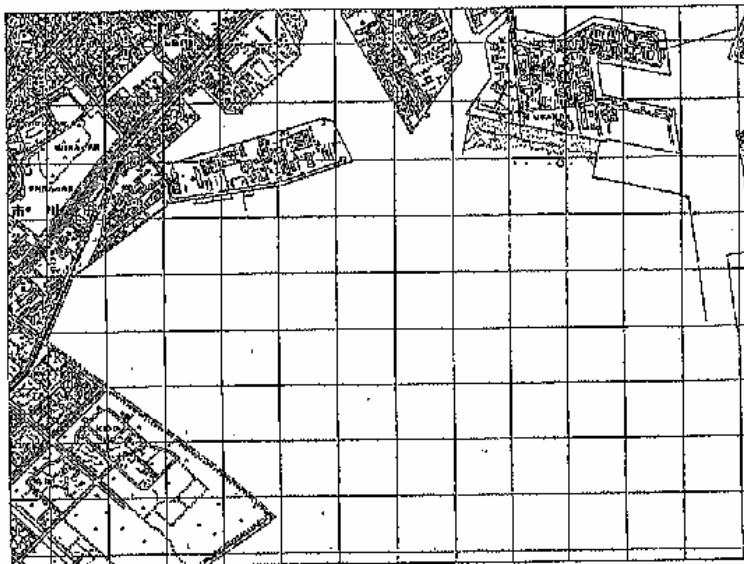
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

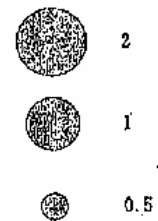
x : 密度(個体数/100m²)
 d : 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
 $d=0.1$ で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x = 10^{d-1}$
上記以外の場合 $x = d$

x : 密度 [個体数/100m²・対象期間]
 d : 直径 (cm)

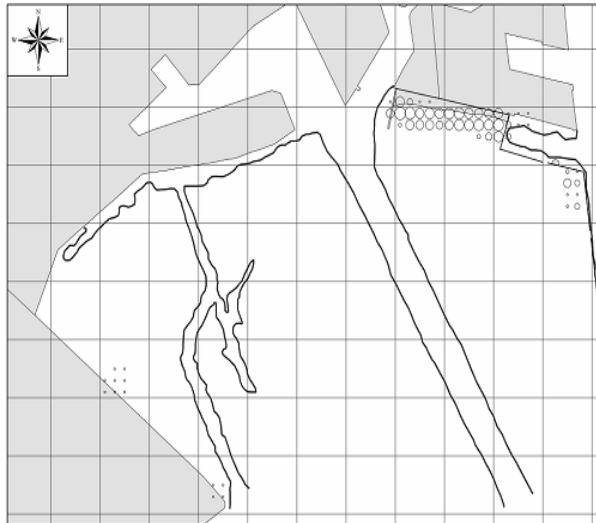
格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m²にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。



ハマシギ

<p>確認時期</p>	<p>平成 8～9 年度同様、主に 5 月と冬季に確認された。</p> <table border="1"> <caption>ハマシギ 観測個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>452</td> <td>1,069</td> <td>1,422</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>19</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>987</td> <td></td> <td>2,286</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>851</td> <td>1,281</td> <td>1,312</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成8年度	平成9年度	5	452	1,069	1,422	8	23	1	0	9	19	1		1	987		2,286	2	851	1,281	1,312
月	平成19年度	平成8年度	平成9年度																						
5	452	1,069	1,422																						
8	23	1	0																						
9	19	1																							
1	987		2,286																						
2	851	1,281	1,312																						
<p>分布状況</p>	<p>冬季の採餌場所を図 18 に示す。</p> <p>ハマシギの採餌は、潮位が低下し始めてから上げ始めまでの時間に主にみられ、潮位が高くなる時間には少なくなった。採餌場所は、船橋海浜公園周辺と日の出前面であり、平成 8～9 年度と概ね同様であった。ただし、平成 8～9 年度にみられた養貝場、市川航路出口付近での採餌は、本年度はみられなかった。</p> <p>冬季の休息場所を図 19 に示す。</p> <p>休息個体は、潮位が高くなる時間に増加した。主な休息場所は、船橋海浜公園の船橋航路寄りであり平成 8～9 年度と大きな変化はなかった。</p>																								

【図 18】 冬季におけるハマシギの密度分布（採餌場所）



平成19年度冬季

密度は次式より求めた円の
大きさ(直径)で表現した。



2



1



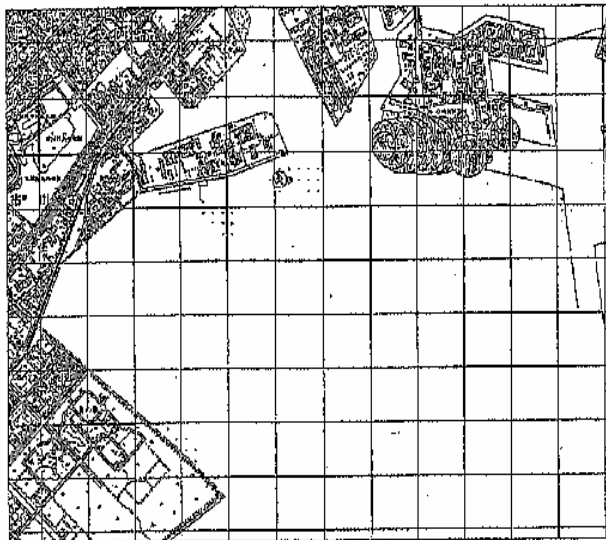
0.5

基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

x: 密度(個体数/100m²)

d: 直径(cm)

d ≤ 0.1の場合
d=0.1で表示



平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大き
き(直径)で表現した。



20



10



5

基準値10以上の場合 $x = 10^d$
上記以外の場合 $x = 10d$

x: 密度【個体数/100m²・対象期間】

d: 直径 (cm)

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

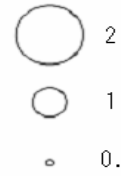


【図 19】 冬季におけるハマシギの密度分布（休息場所）



平成19年度冬季

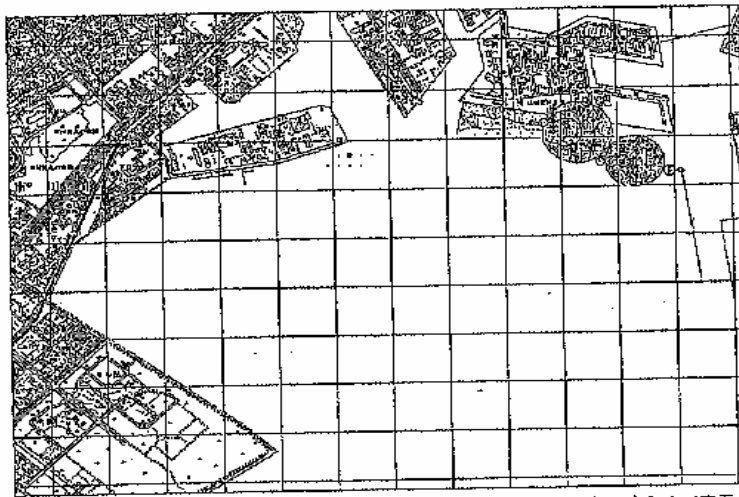
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

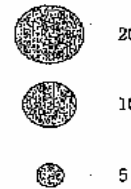
x: 密度(個体数/100m²)
d: 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合
d=0.1で表示



平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値10以上の場合 $x = 10^d$
上記以外の場合 $x = 10d$

x: 密度 [個体数/100m²・対象期間]
d: 直径 (cm)

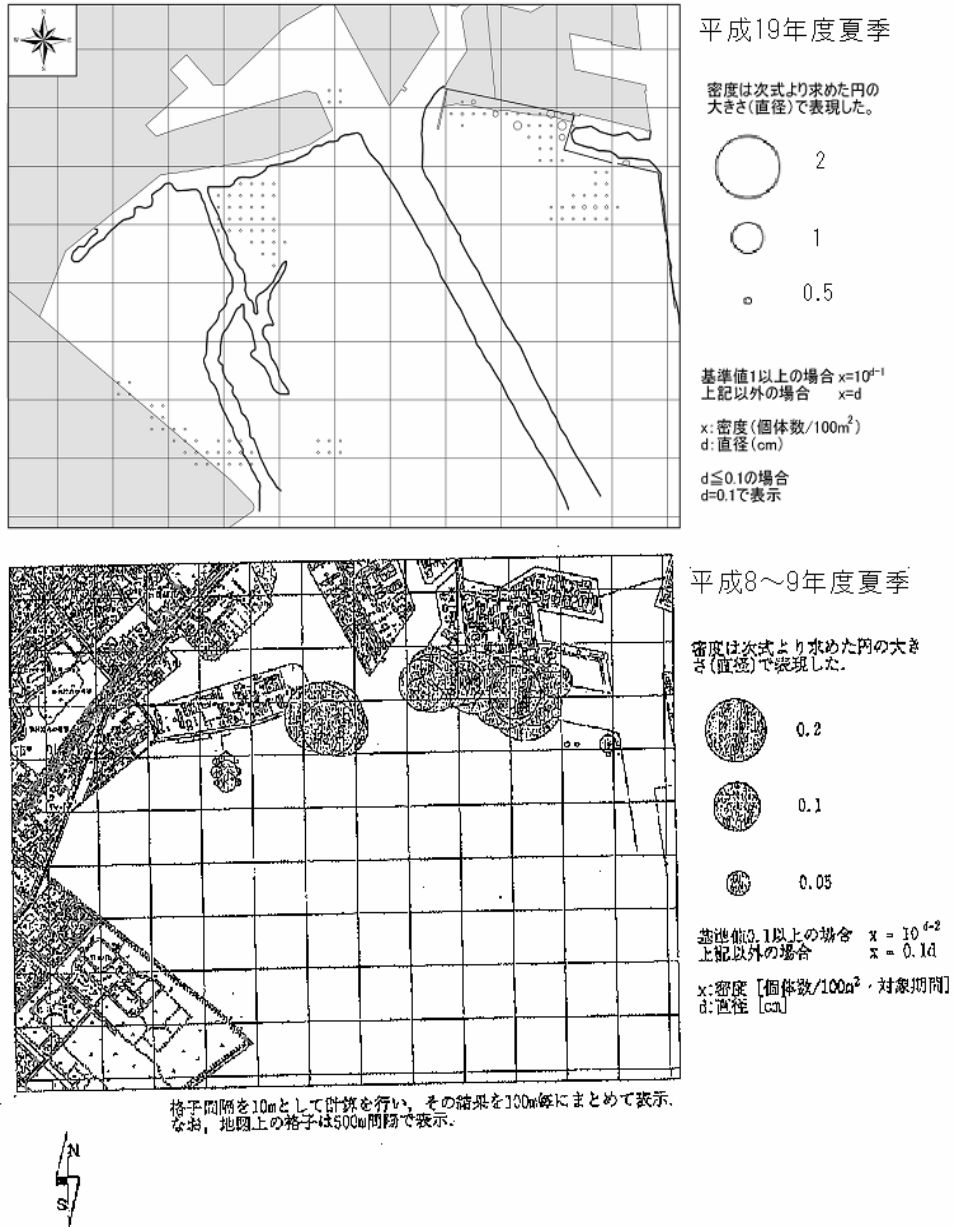
格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m²にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。



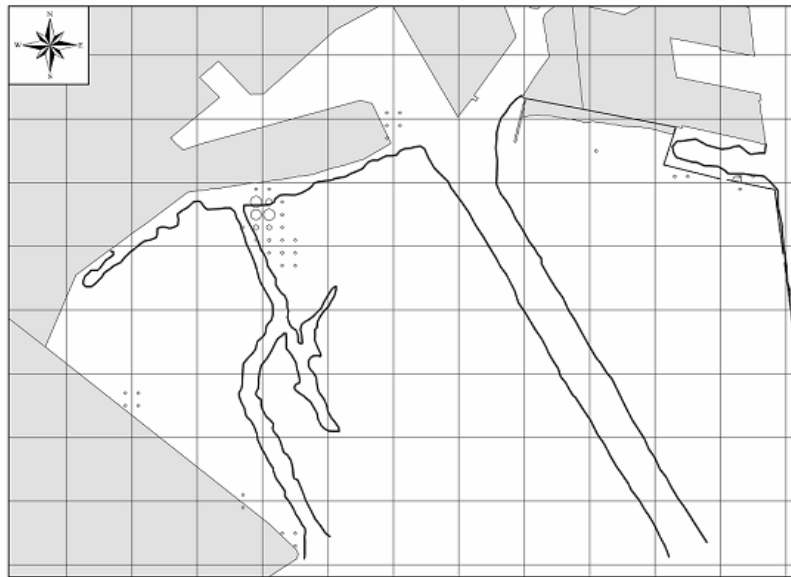
キアシシギ

<p>確認時期</p>	<p>平成 8～9 年度と同様、主に、5 月、8 月に確認され、8 月の確認 個体数が多い傾向にあった。</p> <table border="1"> <caption>キアシシギの観察個体数/時</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成19年度</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>16</td> <td>36</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>92</td> <td>47</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	平成19年度	平成8年度	平成9年度	5	16	36	13	8	92	47	36	9	3	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0
月	平成19年度	平成8年度	平成9年度																						
5	16	36	13																						
8	92	47	36																						
9	3	3	0																						
1	0	0	0																						
2	0	0	0																						
<p>分布状況</p>	<p>夏季の採餌場所を図 20 に示す。</p> <p>キアシシギの採餌は、潮位の下がり始める時間から上げ始める までの時間帯に確認された。主な採餌場所は船橋海浜公園周辺、 養貝場、日の出の前面域であった。日の出前面域での採餌は平成 8～9 年度には確認がなく、採餌場所が拡大していた。一方、江戸 川放水路河口での採餌は、本年度は平成 8～9 年度に比べて少な かった。</p> <p>夏季の休息場所を図 21 に示す。</p> <p>休息は、潮位の高い時間に多くみられた。休息場所は養貝場に かかった橋脚周辺、船橋の防泥柵上、日の出前面の護岸付近であ った。平成 8～9 年度の休息場所は船橋海浜公園及びその沖が中 心であり、今年度とは異なる状況であった。</p>																								

【図 20】夏季におけるキアシシギの密度分布（採餌場所）

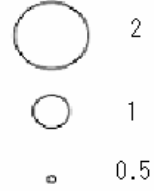


【図 21】夏季におけるキアシシギの密度分布（休息場所）



平成19年度夏季

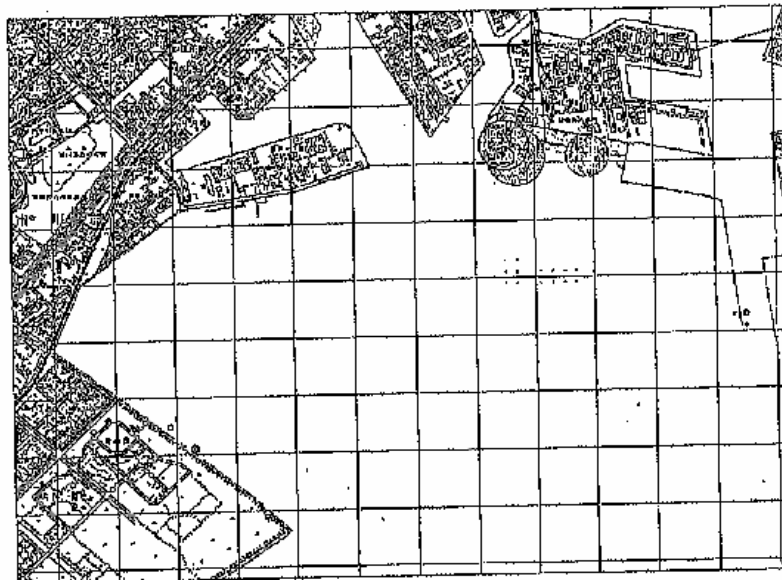
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合 $x=10^{d-1}$
上記以外の場合 $x=d$

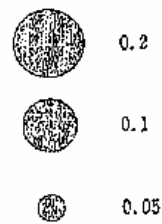
x: 密度(個体数/100m²)
d: 直径(cm)

d ≤ 0.1の場合
d=0.1で表示



平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



基準値0.1以上の場合 $x = 10^{d-2}$
上記以外の場合 $x = 0.1d$

x: 密度【個体数/100m²・対象期間】
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

